

令和5年度庄内町振興審議会分科会（総務分科会）【会議録】

日 時：令和6年3月18日(月) 午後6時～午後8時45分

場 所：庄内町役場B棟2F会議室3

出席者：加藤容委員、佐藤あゆ子委員、門松秀樹委員、富樫豊一委員、阿良直美委員
(事務局)伊藤主任

欠席者：なし

1 開 会 18:30

2 協 議

(1) 意見書確認と集約

①第2次総合計画後期基本計画ベンチマーク（施策指標）進捗一覧

②第2期まち・ひと・しごと創生事業評価指標進捗一覧

③過疎地域持続的発展計画基本目標進捗一覧

④その他

事務局：資料の内容について説明

【委 員】本日は分科会の意見をまとめて、最終的に事務局よりまとめていただく。それぞれ事前に挙げていただいた意見を元に進めていきたい。

【事務局】参考までに過去の答申書の写しを配布しているので参考にしながらご意見等を伺いたい。

【委 員】防災分野においてはどうか。

【委 員】消防団員の減少と高齢化が深刻な問題として認識されている。定年制度の廃止が提案され、高齢者が消防団員として活躍する事例があるようだ。

【委 員】実際に日中動けるのは自宅にいる高齢者の方々であるため、その方々にも消防団とまではいかないまでも防災意識を持たせ、災害があった際は率先して対応することが必要である。

【委 員】木ノ沢集落は山間地域であることから、一次避難の対応や安否確認の担当等もそれぞれ役割が決められている。もちろん見直しは必要になってくるが、そのような体制が構築されていることは大事だと考える。

【委 員】地元の集落も200世帯を超えており、防災訓練を行うにも形式的な訓練となってしまう。全世帯とまではいかないまでも隣集落2・3件の家の状況を事前に把握しておくことで災害があった際は協力し合えるのではないかと考える。女性の視点もとても重要である。

【委 員】何かあったときは消防団に頼り切るのではなく、自助共助の体制を構築することが大切。

【委 員】実際に研修を通して町民の方々の意識を高めることがとても大切である。行政側でもアドバイスできるような研修等もあれば町民の参加しやすいのではないかと。

【事務局】まずは町民の意識改革へと繋がるよう研修を開催するとともに、木ノ沢集落のように各集落での役割分担を明確化していくこと、そして防災分野における女性参画の重要性を答申へ書かせていただく。

【委 員】定住・移住施策についてはどうか。

【委 員】保育園留学については、レポートする家族もおり、移住促進に寄与していると思う。引き続き継続していただきたい。

【委 員】庄内町は移住体験住居がありながらも、役場での事前手続きが必要であるため、町外の方がふらっと立ち寄って移住体験できるようなゲストハウス施設や宿泊施設があれば良いかなとおもう。

【委 員】実際にグリーン・ツーリズム事業で中学校の生徒を受け入れて民泊を行っていたりするが、そのような形で商売に繋がるようなおもてなしをすることでより庄内町の良さを分かっていたのではないかと思います。

- 【委員】理想化された情報よりも、実際の地域生活を体験させることが重要である。
- 【委員】地域の魅力向上に向けた取り組みでは、農業体験や中古住宅の改装などを通じて移住者を増やす試みが行われている。これらの活動は、企業や行政だけでなく、地域住民や地元企業との協力によって実施されており、特に食べ物などの自然に関連する体験が人々を惹きつけている。また、企業の視点からも地域の価値を高めることが重要である。企業等を活用しながら移住の受け入れに係る組織化を図ることが理想。実際に酒田市の企業で都市部の方々向けに農業体験を行ったところ、移住につながったという話も伺っている。ここでしかできない体験をする機会も大切なのでは。実際に観光部門において様々な体験事業を行っているが、遠方からの参加者には割引をしてあげる等、もっと都市部向けに発信しても良いと思う。
- 【委員】庄内町でも有機米研究グループが農業体験を行っているという話も聞く。それなりの効果はあると考える。
- 【委員】マラソン大会を大いに活用するのもありだと思う。せっかく県外からの参加者がいらっしやるので翌日体験事業を行うなど、この機会を最大限に活用すべき。
- 【委員】その通りだと思う。そして役場である以上縦割り組織になってしまうのは仕方がないものの、もっと各課で連携して移住者増・観光者増に取り組んでいくべきと考える。
- 【委員】地元企業や観光協会との連携強化、イベントの抱き合わせ提案が出た。行政の縦割り構造が連携を妨げているという問題点もあることから、課で連携することは本当に大切である。今の意見を踏まえて移住・定住施策及び観光施策に係る答申を記入する。公共交通機関についてはどうか。
- 【事務局】来月4月1日から庄内総合高校の生徒が利用しやすいようダイヤ改正を行った。今後も担当課として利用者のニーズを調査したうえで引き続き見直しを検討していくとのことでした。
- 【委員】利用者のニーズに合わせて見直しを行ったことは評価したい。ただ清川や立谷沢地域においてはデマンドタクシーの利用ができないことから利用しづらい部分もあるようだ。
- 【委員】実際に幹線路線は運行しているが、バス停までそれなりに距離があるため、利用するのが億劫になっている住民も多い。
- 【委員】公共交通への関心は高まっているから感じる不便さのようなものもある。そこも含め引き続き見直しの検討をお願いしたい。
- 【委員】バス停まで行くことが厳しい住民に対して、バス停まではデマンドタクシーを運行するなどうまく連携させて言うことも一つの手ではないか。町営で手が回りきらなければ事業者へ委託するなど、委託するにしても採算がとれるかどうかの分析は必要になってくるため、現状を踏まえ、ある程度の線引きがいずれは必要になってくるのではないかと考える。
- 【委員】今の提案も踏まえて答申に反映したい。男女共同参画事業についてはどうか。
- 【委員】今回、狩川地域づくり組織の臨時総会で、自分が振興審議会の委員になったこともあり、参加者全員にぜひ女性も部会長・副部会長へ手を挙げていただきたい旨のお話をさせていただいた。とても勇気のいることであったが、その影響もあり部会長とまではいかないまでも副部会長へ女性の名前が何名か挙げられたようだ。
- 【委員】当事者が実際に発言することで影響力もとても大きいと思う。そのお陰で私もやってみようという女性が増えたのではないかと思う。
- 【委員】未だに性別の役割分担意識が強いので、アンコンシャス・バイアス等の研修を通して、意識啓発を行っていくことが重要である。
- 【委員】阿良委員の意見を通して、実際に女性の登用率向上に繋がった実績もあることから、この内容も答申に盛り込めたらと考える。情報発信についてはどうか。
- 【事務局】昨年、情報発信の一元化や国際理解に対する意見が出たが、引き続き答申案として提案するという事で問題ないか。また、ふるさと納税に関する内容についても他の分科会の委員の方から意見が同様に出ているため、引き続き提案していくことで問題ないか。
- 【委員】問題ない。
- 【委員】少子化対策という観点で、社会学者によると、男女の収入格差が結婚と出生率に影響を与えている。日本を含む東アジアの国々では、男性が高収入であることが一般的であり、これが男女不平等を生んでいる。男女が平等になると、収入が高い女性と収入が低い男性が結婚しにくくなり、結果と

して婚姻率と出生率が低下する。一方で、東ヨーロッパのように女性の収入が高い場合でも結婚を厭わない地域では、婚姻率と出生率が高い。この問題は、男性に対する稼ぐべきという社会的圧力やアンコンシャス・バイアスにも関連している。この根本的概念を払拭することが大切である。日本の現状として、法的には男女平等が保障されているものの、実際の職場では男性の給料が高く、育児休暇の取得が女性に偏っているため、企業等における意識改革が必要である。

【事務局】役場もちろんだが、町内企業においてもそのような意識改革が必要であると考えている。答申では男女共同参画とは別の答申番号を設け、男女格差そして多様性の踏まえた相互理解を踏まえた答申とする。また、新エネルギーに対しては来年度、計画の見直し等を行い、庄内町に適した再エネ導入の検討を進めているようだ。そこも踏まえて進捗は今後報告させていただく。

【委員】情報提供として、立谷沢地域では小水路や小川を利用した水車による小水力発電を導入している企業が2社・3社あるようだ。

【委員】小水力発電は集落や地域の一部の電力需要を補助し、電力会社からの電気消費量を減らす方法として検討された。また、スマートグリッドとの組み合わせにより、地域内での電力の効率的な配分と利用が可能になる。

【委員】意見というよりは職員に限らず専門員や嘱託職員の方々の接遇対応について気になる部分があった。職員向けには研修等は開催していると思うが、そのような方々には研修会を行っているのかどうか気になって書かせていただいた。

【事務局】実際のところ研修は行ってはいないものの、伺った内容については確認させていただく。

【委員】時間の都合上、最後は駆け足となってしまった。昨年の答申や委員の皆さんから出た意見を参考にしながら進めさせていただいた。出た意見を基に素案作成を事務局にお願いすることでよいか。

【委員】異議なし。

【委員】では、意見を集約した素案を作成いただき、内容を確認したうえで次回全体会に提出する。

(2) その他

3 その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局：答申書（案）の確認と第2回全体会について説明

(2) 庄内町振興審議会委員について

4 閉会 20:55